

SAGA 2020 SSP 杯 佐賀県高等学校スポーツ大会

【陸上競技】新型コロナウイルス感染症対策

1 会場への入場を認める者(観客以外)

- (1) 陸上競技専門部・審判員などの役員及び補助員、当該競技参加校の部顧問(外部指導者を含む)、選手を含む部員、引率者(保護者を除く)、来賓など。
- (2) 陸上競技専門部から入場を許可された者(報道関係者、参加校の写真部員など)
- ※ 感染症対策の観点から、参加校の一般教職員、一般生徒、一般観客については基本的に会場への入場を認めない。
- ※ 入場を認められた者には、4以降の感染症対策項目について遵守を呼びかける。

2 観客の入場及び応援について

- (1) 陸上競技は観客のコントロールが難しい競技であるため、会場内を1で認められた者以外の立入禁止エリアとし、観客の入場を認めない。
- (2) 観客の応援は、立入禁止エリア以外の補助競技場南側(桜並木)からのみとする。
- ※ 観客に対しても、4以降の感染症対策項目について遵守を呼びかける。

3 会場への入場を認められない者

以下の事項に該当する者は会場への入場を認めない。

- (1) 保護者同意書(様式1)を学校長へ提出していない部員。
- (2) 体調チェック表(様式2)を競技専門部に提出していない者。
- (3) 体調チェック表(様式2)で、いずれかの項目に×がついている者。
- (4) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある者。

4 感染防止について

- (1) 感染防止のために遵守すべき事項を整理し、適切な場所に掲示する。
- (2) 4の(1)の事項が遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する。
- (3) 会場入場者にマスクの着用を徹底させる(競技中の選手は除く)。
- (4) こまめな手洗いを呼びかけ、手洗い場には液体石鹸等を用意し、可能な限り、アルコール消毒液を必要個所に設置する。
- (5) 参加者にマイタオルを準備させ、マイタオルの使用を徹底させる。
- (6) 各校の控え場所(屯所)においては、テント等を用いる場合は室内の換気を徹底させる。常時開放ができない場合は一定時間ごとの一斉換気を実施させる。

- (7) 更衣室、休憩・待機スペースについては、諸室等を活用し、ゆとりを持たせて密になることを避ける。ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する選手の数を制限する等の措置を講じる。
- (8) 素手の「握手」「ハイタッチ」「肩を組む」など、競技以外の身体接触を控えさせる。また、ミーティング等も短時間で行い、密にならないよう指導する。
- (9) 会場内のゴミ箱の使用を禁止し、ゴミの持ち帰りを徹底させる。
- (10) 会場等で急に風邪症状の生徒が出た場合は、当該校職員が保護者及び各学校管理職に連絡し帰宅させる。その場合、他の生徒等への健康観察を徹底させる。
- (11) 気温・湿度が高くなる時期であることを踏まえ、熱中症対策を講じるとともに、注意喚起を行う。

5 大会前に学校内で感染が判明した場合

- (1) 当該校の臨時休業の措置が取られた後、保健福祉事務所と教育委員会（私立学校は当該校）が協議のうえ、学校の再開が決定される。臨時休業の措置が取られている間は、全ての競技において当該校は大会に参加できない。

6 大会開催期間中に感染が判明した場合

- (1) 大会開催期間中に感染が判明した場合は、競技を即時中止する。
- (2) 該当競技参加者が保健福祉事務所などの聞き取り等に協力し、その指示に従うとともに、感染拡大防止に努めるよう指導する。

7 観客(応援者)のみなさんへのお願い

- (1) 観客(応援者)は、各校の控え場所(屯所)には行かないこと。
- (2) 保護者が子供(選手)と接触したい場合は、ミックスゾーン(陸上競技場と佐賀県スポーツ会館の間)でのみ物の受け渡し及び連絡等を行うことができる。
- (3) 観客(応援者)も必ず朝、検温をして発熱がないことを確認し、体調不良等があった場合は応援に来ないこと。
- (4) 観客(応援者)の駐車場は佐賀県合同庁舎に用意をするが、台数に限りがあるため、出来るだけ公共交通機関を利用すること。
- (5) 観客(応援者)の応援時の密を避けるため、桜並木での場所取りは禁止とする。目的とする種目の応援が済んだら、直ぐに移動すること。
- (6) 観客(応援者)の集団での応援は、密を避けるため厳に慎むこと。
- (7) 観客(応援者)の控え場所がないので、熱中症対策を十分に行うこと。